

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

たとえば、いまこの部屋には空調が利いています。今日は外が涼しいからこんなに利かせる必要はないと思うのですが、この空調のおかげで、我々は夏でも非常に快適に会議ができます。五十年前にこんなことが可能だったでしょうか。不可能です。三〇度以上の猛暑の中で、汗をたらしながら議論をしていたと思います。その中で、熱射病にかかったりしたかもしれません。そういう肉体的な苦しみやつらさがありました。

ところが、暑い中で仕事をするのはいやだ、つらい、苦しいとなるのが人間でしょう。ならばどうするか。①そのつらさや苦しみを消すテクノロジーを発展させればいいのです。そして現実には、そのような技術を開発してきました。これが無痛化のよい例です。みなさんも他の実例をさまざまに思いつくと思います。こういう話をすると、すぐにおわかりになると思いますが、そもそも文明の進歩とは無痛化を進めることではないのか、と考えることもできます。

正確に言えば、今あるつらさや苦しみから、我々がどこまでも逃げ続けていけるような a 仕組みが、社会の中に張りめぐらされていくこと、これを私は「無痛化」という言葉で呼んでいます。ですから、病気でどこかが痛いときに鎮痛剤をつかうことが、②私が言いたい無痛化ではないのです。そうではなくて、暑いのがいやだったら、暑いことから逃げる b テクノロジーをどんどんつくる。何かこころの悩みがあるのなら、それを消す薬を開発して飲む。人間関係が苦しいのなら、そこから逃げる。親の介護が苦ければ、親をどこか見えないところにやっつけてしまう。そういうふうにして、目の前に起こってくる苦しみやつらさから、次々と逃げ続けていけるような仕組みを社会の中に張りめぐらせていくこと、これを、私は無痛化と呼んでいます。

無痛化は、いま目の前にある苦しいことやつらいことから次々に逃げるだけではなくて、もう一つの特徴を持っています。それは、将来起きるかもしれない苦しみやつらさを予測して、あらかじめ手を打つことです。(A)、苦しみやつらさが起きないように、あらかじめ次々と手を打っていくのです。(B)、現代の科学技術や医療技術は、そのような社会の進み方を c サポートする方向に、どんどん進んでいるのではないのでしょうか。私はそういう d 流れを無痛化と呼んでいます。そういう方向に向かって、e 機関車のように邁進している我々の文明のことを、「無痛文明」と呼んでいます。無痛文明がもつとも進んでいるのは、おそらくアメリカ合衆国と日本ではないでしょうか。

では、苦しみからどこまでも逃げ続けていく仕組みが社会の中で発展したとして、③そのどこが悪いのか、という疑問が浮かぶと思います。文明の進歩とはそういうものであったらどうだろう。それは文明の輝かしい勝利なのではないか、④何てすばらしいんだ、とはたして、そうでしょうか。

これは非常に悩ましく難しい問題です。現代哲学が正面から立ち向かって、深く掘り下げるべき問題ではないかと思えます。いま体験しているさまざまな苦しみ、将来ふりかかってくるであろうさまざまな苦しみ、そういうものから、多くの人々が次々と逃げ続けることができるような仕掛けが張りめぐらされている社会は、いい社会だと思えますか。みなさん、どうお考えでしょうか。この問いかけを若い人たちにすると、⑤彼らはイエスとはなかなか答えずに、考え込みます。

苦しみから次々逃げ続けることができるのは文明の勝利だし、それでどこが悪いのかと問われたとき、私はどう答えるか。そこに何か問題があるとすれば、それは我々から「よろこび」が失われていくことだ、というのが私の結論です。

苦しみから次々に逃れていったあとに何が残るかという点、快樂と快適さと安樂さが残ります。社会の中で、人間関係の中で、人生の中で体験する苦しみからどんどん逃れていき、そうしてどうしても逃れられない苦しみがあれば、それに f 目隠しをして見ないことにする。すると、⑥そういうものは全部目の前からなくなると、そのあとに何が残るかという点、快樂、快適さ、安樂さが残る。ほしい刺激は手に入られる、樂をしたいときには樂ができる。こういう状態になるのです。

もちろん今の段階の文明は、まだそこまで行ってはいけません。そこを目指して動きはじめたころですから、まだそこまで行っていないのですが、もしそこまで行き着いてしまったらどうなるのか。苦しみからいくらでも逃れ続けることができ、快樂、刺激、安樂さ、快適さ、これらを十分に経験することができ、するとどうなるか。「気持ちがいいけれどもよろこびがない、刺激が多いけれども満たされない」、という状態になるのでしょうか。これが、⑦現代文明の根本的問題だと私は思うのです。

問一、二重傍線部 a～c の語に最も近い意味の言葉をそれぞれ後から選びなさい。

( a 〓 解答番号 1、 b 〓 解答番号 2、 c 〓 解答番号 3 )

1 技術      2 カルチャー      3 支援      4 システム

問二、文中の ( A ) ( B ) に入る言葉をそれぞれ次から選びなさい。( A 〓 解答番号 4、 B 〓 解答番号 5 )

1 しかし      2 そして      3 つまり      4 たとえば

問三、二重傍線部 d・e を言い換えたものをそれぞれ次から選びなさい。( d 〓 解答番号 6、 e 〓 解答番号 7 )

d 1 風流      2 流行      3 潮流

e 1 ひたすら      2 ゆっくり      3 おおよそ

問四、二重傍線部 f を表現する言葉を次から選びなさい。(解答番号 8)

1 壁に耳あり障子に目あり      2 木を見て森を見ず      3 臭いものに蓋(ふた)をする

問五、太線部 1～4 の「そこ」のうち、指す内容が一つだけ他と大きく異なるものがある。それはどれか。(解答番号 9)

問六、波線部①のようなテクノロジーとしてあげられている分野としてあてはまるものを選びなさい。(解答番号 10)

1 産業技術      2 漁業技術      3 医療技術      4 製本技術

問七、波線部②について次の問に答えなさい。

(1) 鎮痛剤の使用が「私が言いたい無痛化ではない」のはなぜか、次から選びなさい。(解答番号 11)

1 病気の時にしか役に立たないものだから。

2 苦しみから逃れる仕組みそのものではないから。

3 いつでも必ず痛みがとれるというわけではないから。

4 ほんの一時的に痛みを忘れさせる効果しかもたないから。

(2) 筆者の考える「無痛化」とは何か。次から選びなさい。(解答番号 12)

1 ひとりひとりが感じている苦しみや悩みを社会全体が理解し、心理的な援助を行っていくような社会の仕組みの確立を目指すこと。

2 技術を発達させていくことよって、この世の中から全ての人間の肉体的な苦痛を消してしまおうとすること。

3 現代社会が抱えている問題に正面から立ち向かい、一つ一つの問題を社会全体で解決していけるような制度を作り上げること。

4 目の前の苦しみやつらさ、将来の苦しみやつらさについて、そこから逃れたり、それを見えなくしたりすることができるシステムを築こうとすること。

問八、波線部③の答えとして筆者は何をあげているか、次から選びなさい。(解答番号 13)

1 文明の進歩により苦しみから逃れられる。

2 我々から「よろこび」が失われていく。

3 快楽、刺激、安楽さ、快適さを十分に得られる。

4 目の前のつらさから逃げられ、安らげる。

問九、波線部④はどのような点について述べたものか、次から選びなさい。(解答番号 14)

1 苦しみがなくなり、快楽と快適さと安楽さだけが残されている点。

2 科学技術や医療技術が発展し、世界に最たる技術国となっていく点。

3 テクノロジーを発展させればだれもが幸せな社会が築ける点。

4 最新技術により逃げたいときにはいつでも嫌なことから逃げられる点。

問十、波線部⑤のことについて筆者はどのように考えているか、次から選びなさい。(解答番号 15)

1 若者たちは無痛化社会の問題点をうすうす感じている。

2 現代の若者たちは自分が生きている社会に関心がない。

3 無痛化社会という概念は、まだまだ社会に浸透していない。

4 現代を生きている人間には、逆に現代の問題が見えてこない。

問十一、波線部⑥とは何か、次から選びなさい。(解答番号 16)

1 気持ちがいいが喜びがなく、刺激が多いが満たされない苦しみ。

2 無痛化社会に生きることで起きる葛藤と苦しみ。

3 将来起きるかもしれない苦しみやつらさの予測。

4 社会の中で、人間関係の中で、人生の中で体験する苦しみ。

問十二、波線部⑦について、次の問に答えなさい。

(1) 「現代文明」を筆者はなんと表現しているか、次から選びなさい。(解答番号17)

1 技術文明 2 無痛文明 3 快樂文明 4 逃避文明

(2) 「根本的問題」とは何か、次から選びなさい。(解答番号18)

1 いつも苦しみやつらさから逃げることを続けているうちに、苦しみを伴うできごとに正面から立ち向かう勇気を人々が忘れかけていること。

2 苦しみから逃れるために人と人との心のつながりを断ち切ってしまったために、ひとりひとりが孤独を抱えるようになってしまったこと。

3 科学が生み出す技術に頼って安楽な生活を長く続けているうちに、人間がもともと持っていた生命力が損なわれようとしていくこと。

4 苦しみを避けるために現実を切り捨て、現実の苦しみを乗り越えるよろこびや満足感という、人間にとって大切なものを失いつつあること。

二、19～23について、( )の中に共通した漢字を入れると熟語になる。その漢字を後から選びなさい。

19 ( ) 対・( ) 援・反 ( )

20 ( ) 通・外 ( ) ・社 ( )

21 復 ( ) ・ ( ) ( ) 味・ ( ) ( ) 奮

22 ( ) ( ) 実・親 ( ) ( ) ( ) 断

23 ( ) ( ) 格・物 ( ) ( ) ( ) 源

1 資 2 切 3 興 4 交 5 応

三、24～28について、慣用句の表現が正しい方を選びなさい。

24 彼の発言に―― 1 首をかしげる 2 頭をかしげる 一。

25 一 1 木で花をくくる 2 木で鼻をくくる 一 ような挨拶。

26 一 1 酸いも甘いもかみ分けた 2 酸いも辛いもかみ分けた 一人。

27 感染症で―― 1 熱にうかされる 2 熱にうなされる 一。

28 一 1 とりつく島 2 とりつく暇 一 もない態度。

四、29～33について、次の波線部の副詞に呼応して ( ) に入る言葉を後から選びなさい。

29 おそろく彼は来ない ( ) 。 1 たい 2 のか 3 ような 4 だろう

30 わたしにはその意味が全然わから ( ) 。 1 たい 2 ない 3 ような 4 ないだろう

31 まさかいやだとは言わ ( ) 。 1 ない 2 のか 3 だ 4 ないだろう

32 どうしてこんなことがわからない ( ) 。 1 たい 2 ない 3 のか 4 だろう

33 今年こそはぜひ海に泳ぎに行き ( ) 。 1 たい 2 ない 3 だ 4 だろう

五、34～38について、送りがなの正しい方を選びなさい。

34 一 1 明かに 2 明らかに 一

35 一 1 新らしい 2 新しい 一

36 一 1 失う 2 失なう 一

37 一 1 悔しい 2 悔やしい 一

38 一 1 勇しい 2 勇ましい 一

平成二十三年度 「国語総合」 正解

平成22年12月11日

31	21	11	1
<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
32	22	12	2
<b>3</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>4</b>
33	23	13	3
<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>
34	24	14	4
<b>2</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>
35	25	15	5
<b>2</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>3</b>
36	26	16	6
<b>1</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>3</b>
37	27	17	7
<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
38	28	18	8
<b>2</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>3</b>
	29	19	9
	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>1</b>
	30	20	10
	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>3</b>